

内閣総理大臣 鳩山由紀夫様

2010年3月26日 辺野古への基地建設を許さない実行委員会

私たちは鳩山政権に次の3点を要請します。

- 1 普天間基地は沖縄県内に移設するな
- 2 普天間基地を即時に閉鎖し普天間の土地を沖縄に返すことを米国政府に要求せよ
- 3 沖縄の民意を尊重せよ

以下、簡単にその理由を述べます。

「普天間」移設の「日米合意」見直しと移設先検討の遅れが日米関係を悪くするとマス・メディアが問題視していますが、普天間基地の歴史と現在の位置づけを見ればこのこっけいさは明らかです。普天間基地は日本を守るために造られたものではありません、日本を攻撃するために造られたのですよ。65年前の4月、アジア・太平洋戦争中に米軍が沖縄に上陸し普天間地域を占領し、米軍は日本本土を攻撃するために普天間地域を整地し飛行場をつくりました。そして、今は、極東のみならず中東、アフリカまでをにらんだ海兵隊出撃のための基地となっているのです。戦争中に占領され今は攻撃拠点である普天間基地、その代替地をなにゆえに鳩山政権が探し求めないといけないのでしょうか？

民主党は、昨年8月の衆議院選挙で普天間は国外または県外に移設すると公約しました。が、政権発足後半年間の鳩山政権の首脳陣の態度はあまりに情けない。就任当初から辺野古現状案を匂わした北沢防衛相、昨年10月に米高官と会ったあとあっさり県外は難しいと言い出した岡田外相、辺野古基地建設反対の稲嶺新名護市長が誕生した直後に市長選の結果を斟酌しないと声明した平野官房長官。そしてずっと「命を大切に」、「沖縄の民意を」と訴えてきた鳩山首相までが「県外は難しい」と言い出しました。皆さんが普天間について詰めの検討を始めたと聞いて私たちは不安でなりません。沖縄の人たちの怒りが爆発するのは当然です。名護市住民投票、県議会決議、県民大会、名護市長選、県議会全会一致決議、名護市ほか各市町村の決議等に示された沖縄の民意をしっかりと受け止めてください。普天間基地を沖縄県内に移設することは絶対に許されません。過去13年間を振り返れば、鳩山政権がもし沖縄民意をないがしろにする決定をしても実現できないことは明らかです。

多くの識者は、普天間移設問題はアメリカにとってさほど重要ではないと述べています。2月に米政府が公表したQDRではグアムをハブ基地とすると述べています。最近の米兵による自動車事故ばかりでなく、この65年間米軍米兵による暴行・騒音・環境汚染ほかの

基地被害は想像を絶するものでした。かつて、ラムズフェルド国防長官は、世界一危険な普天間基地といい、一方、歓迎されないところに基地は置かない、とも話しました。沖縄県民は基地を歓迎していません。鳩山政権が今実施すべきことは、普天間基地を即時に閉鎖してもらいたいと米国政府に要請することです。もし、そのことによる米国からの恫喝があればそれを公開し、日本のおかれている状態を全国で共有して、民主党の公約である「対等な日米関係」を新たに創っていくべきです。

やはり日本はアメリカの属国なのでしょうか？ 1947年の天皇メッセージ、米兵の第一裁判権、伊達判決への米国圧力、沖縄での枯葉剤使用や核格納、「核抜き本土並み」のうそ、沖縄原状回復費の日本肩代わり、オスプレイ配備隠し、在日米軍幹部への勲章授与とその非公開、などなど過去 65 年間に日米政府は米国政府に従いながら時には自ら米国政府の意向におもねり、沖縄の民衆を日本の民衆を騙し続けてきました。私たちがまだ知らない密約も多々あるに違いない。

日米両政府は、民衆騙しの虚構の上に、1951年に日米安保条約を締結し、民衆の強い反対の声を無視して1960年に条約を改定し、国会で議決することなく1996年に日米安保共同宣言で日米安保条約を変貌させ、世界中への米国による侵略戦争に容易に加担できるようにしてきました。ベトナム戦争・アフガン攻撃・イラク攻撃の歴史がそれを証明しています。今、鳩山政権が実施すべきことは、3月9日に公表された報告書で密約調査を幕引きにするのではなく、自民党政権による数々の民衆騙し、官僚による資料廃棄を、洗いざらい明らかにすることです。その反省の上で、これからは沖縄の民意を尊重してください。

最後にもう一度鳩山首相をお願いします。

米国政府よりも沖縄民衆の声を尊重し、普天間基地を即時閉鎖し、県内移設は止めてください。

辺野古への基地建設を許さない実行委員会

問い合わせ先：090-3910-4140（一坪） Fax 03-5275-5989（市民のひろば）

<http://www.jca.apc.org/HHK/NoNewBases/NNBJ.html>

東京都千代田区三崎町 2-2-13-502 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック